

## 第5章 地震発生後の動き



## 第1節／災害対策本部・支部の動き

### 1. 国土交通本省の体制

国土交通本省は、地震発生後、直ちに地震災害の非常体制を発令するとともに、「平成19年能登半島地震国土交通省非常災害対策本部」を設置した。

3月25日14時00分に冬柴大臣出席による国土交通省内連絡会議の開催、冬柴大臣の指示により吉田国土交通大臣政務官を現地に派遣（3月25日～26日）、冬柴大臣の現地視察（3月30日）、国土交通省先遣隊を現地へ派遣（河川、道路、住宅、鉄道、港湾、航空）、本省、地理院、国総研、土研、建研、港空研は専門家（砂防、道路、橋梁、下水道、建築、宅地、港湾、空港等）を現地へ派遣した。

### 2. 北陸地方整備局の体制

#### (1) 災害対策・災害支援対策に関する体制

3月25日の地震発生と同時に、北陸地方整備局は地震災害と災害支援の非常体制を発令するとともに、「能登半島地震北陸地方整備局災害対策本部」、及び「災害対策支援本部」を設置し、直轄管理施設の応急復旧や自治体への支援を行った。事務所においても、20事務所で直ちに体制がとられた。

表5-1-1 支部の防災体制

○非常体制(震度6弱以上): 3事務所 金沢河川国道、金沢営繕、金沢港湾・空港
○警戒体制(震度5弱以上): 6事務所 信濃川河川、長岡国道、富山河川国道、立山砂防、利賀ダム、 伏木富山港湾
○注意体制(震度4以上): 11事務所 高田河川国道、信濃川下流河川、阿賀野川河川、湯沢砂防、 新潟国道、黒部河川、松本砂防、神通川水系砂防、越後丘陵公園、 新潟港湾・空港、敦賀港湾

このような体制のもと応急復旧を鋭意進め、直轄管理施設の応急復旧が完了したこと、被災地で復興が進んでいる等により、災害対策本部、災害対策支援本部を8月1日8時30分に解除した。

#### (2) 現在の体制(平成19年12月現在)

4月25日から北陸地方整備局企画部内に能登半島地震復旧・復興支援センターを設置し、被災市町及び石川県の復旧・復興に関して、相談・調整・支援等を引き続き担当している。

表5-1-2 本部及び主要支部の防災体制

本部・支部	防 災 体 制			
	非常体制	警戒体制	注意体制	解 除
本部				
地震災害	3/25(9:42)	3/26(14:40)	4/24(18:00)	8/1(08:30)
災害支援	3/25(9:42)	4/24(18:00)		8/1(08:30)
金沢河川国道	3/25(9:42)	3/26(06:30)	4/24(18:00)	8/1(08:30)
金沢営繕	3/25(9:42)	3/26(10:45)	4/05(08:45)	4/24(16:00)
金沢港湾空港	3/25(9:42)	3/26(14:15)		4/24(17:50)

## 第2節／被災地の視察

能登半島地震発生から約1カ月の間に行われた大臣、副大臣、各種委員会の視察は以下のとおりである。

表5-2-1 視察一覧

月 日	視 察 者	視察内容
H19年3月25日～26日	吉田国土交通省政務官 (別紙1)	被災状況調査、石川県知事・ 輪島市長と会談
H19年3月25日～26日	本省災害調査団	被災状況調査
H19年3月25日～26日	政府調査団	輪島市の被災状況調査
H19年3月27日	平沢内閣府副大臣	被災状況調査、地元自治体か ら要望聴取
H19年3月30日	冬柴国土交通大臣 (別紙2)	被災状況調査、地元自治体か ら要望聴取、避難所激励
H19年4月1日	沓掛参議院議員	港湾施設の被災状況調査
H19年4月2日	衆議院災害対策特別委員会 木村義雄委員長	輪島市の被災状況調査、避難 所激励
H19年4月13日	安倍総理大臣	輪島市の被災状況視察、石川 県知事、輪島市長と会談、避 難所激励

北陸地方整備局の対応は次のとおりである。

- ・視察対応は、本部班(企画部防災課)が本省と調整し行程案作成、それを総務班(総務部)及び各班(関係部、関係事務所)の協力を得て実施した。
- ・説明資料の作成は各班(関係部)の既存資料を用いたり、行程案の作成では災害対策現地支援センターと調整しながら行った。

## 吉田国土交通省政務官 視察状況

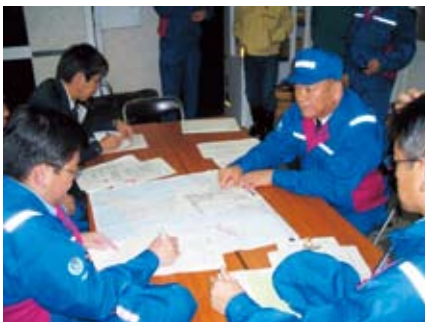
(平成19年3月25・26日)

25日15時頃  
上空からの被災地視  
察状況  
(輪島市輪島崎町)



25日19時頃  
輪島市長との会談

25日20時頃  
国土交通省現地調査  
団から、被災状況確  
認(災害対策車内)



26日10時頃  
石川県知事との会談

## 視 察 行 程

3月25日

12:10 北陸地方整備局災害対策本部到着

- 非常参集職員を激励
- 被害速報の聴取
- 所管施設の被災状況の速やかな把握
- 被災自治体への迅速な支援を指示

13:12 ヘリにより富山防災センターへ移動

- 上空から氷見、七尾、穴水、輪島地域の被災概要を調査

15:37 富山防災センターに着陸

- 被災状況を調査しつつ、陸路移動

19:10 輪島市長との打合せ

- 被災状況の報告聴取
- 国土交通省の支援表明

19:20 政府現地連絡対策室

- 対応職員の激励

19:30 災害対策車

- 国土交通省調査団との打合せ

19:45 輪島市内倒壊家屋視察

20:30 輪島市内出発(金沢市内泊)

3月26日

10:15 石川県知事との打ち合わせ

- 被災状況の報告聴取
- 国・県の連携確認
- 知事より国に対し、インフラ(特に道路)の復旧に関し、人的・財政的支援の要請
- 国土交通省の支援表明

11:00 ヘリにより新潟へ移動

- 上空から能登有料道路の被災状況を調査

13:00 北陸地方整備局到着

- 被害概況報告聴取
- 被災自治体への十分な支援を指示

冬柴国土交通大臣 視察状況

(平成19年3月30日)



被災地視察状況(能登有料道路)  
(防災ヘリ「ほくりく号」より)



知事・市町長との会談(輪島市役所にて)  
(石川県知事、輪島市長、珠洲市長、七尾市長、能登町長、中能登町長、  
穴水町長、志賀町長)



災害対策現地支援センターの職員激励  
(北陸地方整備局設置)



避難所の訪問、激励(輪島市門前町門前会館にて)



視 察 行 程

- 12:22 富山空港発  
○ヘリにより、上空から氷見、七尾、穴水、輪島地域の被災概要を視察
- 13:11 能登空港着
- 13:42 輪島市役所着  
○石川県知事等からの被災状況・要望等聴取
- 14:10 輪島市役所発  
○輪島市門前町被災状況の視察
- 14:50 輪島市門前町門前会館(避難所) 着  
○避難住民激励
- 15:15 輪島市門前町門前会館(避難所) 発
- 16:05 能登空港発